

町政座談会を開催

7月、町内5つの会場で町政座談会を開催しました。町民の皆さんからの質問・意見と、町の回答の一部を紹介します。
(Q:質問、A:回答)
※各会場での質問・意見、回答は、町ホームページでご確認ください。



【町からの情報提供】

- ①第2次総合振興計画の総括
- ②教育環境基本計画の説明



自治・協働

Q「小さな拠点」とはどういう仕組みか。また、赤名地区、頓原地区での取組が進んでいないのはなぜか。

A「小さな拠点」は、地区ごとに困りごとや実情を把握し解決する、国が推進する取組。行政の押し付けではなく、地域に合わせて推進するため地域間で差が出る。赤名・頓原地区も引き続き地域づくりを進めていく。

Q飯南町を知ってもらおう、来てもらうきっかけとして、どのように移住を検討している人へのアプローチをしているのか。

A県や定住財団の定住フェアへの参加、ホームページやSNSでの情報発信の強化を行っている。移住した後の就労先確保や、各種補助金の見直しや検討をしていく。

Q自治協働について、行政と住民が一緒に取り組むことが大切。座談会

ていきたい。

保健・医療・介護・福祉

Q介護施設の担い手は少なくなるが、介護が必要な人は増える。どのように介護職員の確保をしていくのか。

Aいったん町外に出た若者が帰ってこられる職場づくり、受入れ体制を整えていく。

Q飯南病院以外で検査を希望する場合、医師に相談しやすい環境にならないか。

A(※)セカンドオピニオン制度もあり、気軽に医師に相談していただきたいが、難しい場合は、飯南病院2階の窓口で相談いただければ対応する。相談窓口があることも周知していく。
※他の医療機関で第2の意見を求めること

生活環境

Q町道や県道の草刈りや道路維持は個人では難しい。通学路の白線や横断歩道が消えているところもある。対応をしてほしい。

A平素からの管理に感謝している。県道は道路状況を確認し、県に報告する。町道は現地を確認して対応し

の出席者は、行政職員、自治会役員が多く、課題と感じる。

A地域づくりに無関心にならないよう、前に進んでいることが分かるような発信を行っていく。

Qイベントなどの開催で、放送やホームページなどでも、事前の告知をしてほしい。

A町民の皆さんに情報が届くよう、知っていただく機会をもっと設けていく。ホームページでの公開もするが、情報が埋もれてしまうということもあり、今後の課題とさせていた

教育・文化・子育て

Q現在、地方は教員が足りない状況があるが、町では教員不足に対してどのように取り組んできたのか。

A県には、小規模校であっても教員に欠員が出ないよう配慮していただいている。今後も教員の負担をいかに減らすか分析をしていく。現在、町では(※)コミュニティスクールを導入しており、地域全体で学校を守っていききたい。
※地域住民が学校運営に参画できるようにする仕組み

Q保小中高一貫で取組をしているが、地区ごとに進めるのではなく飯

南町全体で進める必要があるのではないか。

Aコミュニティスクールが全小中学校に導入されたので、地域全体で子どもを育てる取組を進めていく。

Q中学校を統合すると、通学の負担が多いが、通学時間を短縮するための支援をしてほしい。

A中学校の設置場所はまだ決まっていないが、通学時間も考慮して負担がかからないよう検討していく。

Q志々小学校の耐震調査の具体的な時期や耐震調査の内容を知りたい。

A小学校は4校とも存続の方向であるが、学校施設の耐震が問題。志々小学校は、8月末から9月初めにかけて出る調査結果をもとに、耐震改修の内容を検討する。町民の皆さんには中学校の再編計画とあわせてしっかりと説明をしていく。

産業

Q休耕田、放棄地管理をどうするか。今後どう農業を維持していこうと考えているか。

A個人での農業経営が難しい中、組織化を進めている。少ない担い手で運営できるよう、スマート農業やデジタルの活用を進めていく。

A本町のマイナンバーカードの交付率は82.7パーセント(6月末時点)。マイナンバーカードの健康保険証利用の推進もあり、交付率を上げるために出張交付サービスの検討を進めていく。

Q燃料高騰対策、住宅環境整備の補助制度があると聞くが、住民のところへ届いていない。

Aエコリフォームの助成金は自治区文書で周知している。エコ診断を受けたものを対象に助成を行っている。

自然環境

Q薪ストーブ設置の助成があるが、ペレットは対象ではないのか。

A現在、補助対象としているのは薪とチップで、ペレットは対象としていない。町内にペレット化する設備がないことから、まずは町内で供給可能である薪を対象としているが、ペレットも検討していく。

Q太陽光や薪ストーブの補助金などがあるが、空家を活用した脱炭素を検討してほしい。

A町としての方針や計画を練っている段階。限られた財源の中で、有益な事業を考えたい。補助金についても次年度以降に向けて考えていく。